

お知らせ



□パナソニック住まいづくり無料相談会
仙台市青葉区本町2丁目4番6号
仙台北町三井ビルディング1階

9/10(土) 10:00～17:00 入場無料
(受付16:00まで)

10/8(土) 10:00～17:00 入場無料
(受付16:00まで)

詳しくはこちらをご覧ください。

イベント開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成
株式会社 加藤一成建築設計事務所
仙台オフィス
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932
秋田オフィス
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316
HP: <http://www.issei-design.com/>
Blog: <http://www.issei-design.com/blog/>
Mail: info@issei-design.com



改修プランで一体となったりビングからダイニング・キッチンを見る。キッチン上部にはロフトを設けている。



キッチンからリビング方向を見る。西側上部にはトップサイドライトを設け、LDK奥まで光を導く。



キッチンからリビング方向を見る。構造躯体は補強しながらできるだけ再利用とする。



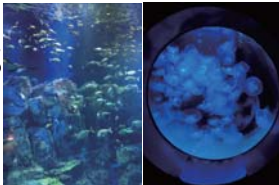
ロフト。西側のトップサイドライトから日が差し込む。解体が終了し露出した構造躯体。

秋田市内の住宅地に建つ、築40年あまりの住宅のリノベーションです。既存住宅は在来木造2階建てで46坪ほど、施主が親世代から引き継いだもので、40年という築年数相応の住宅でした。リノベーションが取り壊して新築か諸々の観点から検討し、フルリノベーションという方法を選択しました。事前に一般診断法による耐震診断を実施した結果、予想通り構造評点は0.7を大きく下回りました。リノベーション後はそれほど多くの面積は必要無く、全体の重量を軽減し耐震性も向上させる意味で、2階は撤去する事としました。プラン的には大きな既存グリッドは残しながら水回りの位置やLDKのあり方などを大きく変更し、現代的なライフスタイルに合うものとなりました。屋根形状は西側に付けた越屋根とし、南側開口部からの日照にプラスして、西側上部のトップサイドライトの光も有効に採り入れています。北寄りのキッチン上部にはロフトを設け、収納やプライベートなスペースとして活用します。古い部材を活かしながら記憶の継承をするともに、現代の新しいスタイルに合わせた住宅になったのではないかと思います。使用材料も温もりのあるものとし、ロフトと合わせて暮らしに豊かさを与える仕掛けもできたのではないかと思います。

■特集 "秋田市 M-house Renovation Project"

>> 男鹿水族館G A O

皆様こんにちは。小野です！9月に入り、澄み切った青空に白いうろこ雲がきれいな季節になってきました。あっという間に夏が終わってしまいそうですね。先日、男鹿水族館G A Oに行ってきました。秋田に来てから5年経つ私ですが、一度も行ったことがなかったんです。1週目はハイテンションでまわり、2週目はおっとりして見えました。3週目に行こうとしたところ、もう十分だろうとストップがかかりましたけど(T_T)お魚はずっと見ていると飽きないんです。そしてたっぷり堪能した分、遊び疲れて水族館を出てからの最初の一言・・・「おなかずいたあ(´ω´)・・・」その日の晩御飯はお刺身でした(笑)海が大好きな小野は魚が大好きで、見るのも好きですし、食べるのも大好きなのであります。秋田でもまだ行ってない場所や、体験していないことが沢山あるなあと思ひ、もっともっと秋田を知りたいなあと感じる今日この頃です。



>> 新屋のまちなみ

こんにちは、山崎です。先日秋田市新屋をぶらりしてきました(笑)。新屋地域は、歴史的にも価値のある建物が現在に残され、古い町並みを散策するワークショップなども開催されているらしく、その町並みはこの地域のまちおこしにも一役買っていると言えそうです。また2017年7月末には、新屋表町通りの旧新政酒造跡地にて、ガラス工房を併設した拠点施設がオープンします。新しい風も取り入れながら、新屋地区全体のさらなる活性化につながることでしょ。今回の特集も古いものを有効活用して、新しい形へと変身させるリノベーションでした。どどんりリノベーションの分野が熱くなってきていますね～。その魅力に注目されている方、結構いらっしゃるのではないのでしょうか？



>> 編集後記

みなさん、こんにちは。今年度は真夏から矢張り早く台風が襲来しています。何度か東北地方にも近付いたり上陸したりして、岩手県を中心に、大きな被害も発生しています。多くの方が未だに不便な生活を余儀なくされているようです。被災された地域の方々には、心よりお見舞い申し上げます。各地で何れも同じような災害が起こっているのですが、自然災害です。次にどこで何が起こるのか、予測することはやはり難しいでしょう。繰り返し人命が失われてしまうのは大変残念です。さて、7月下旬～8月下旬にかけて建築学会の作品選集の審査で、6建築作品の審査を担当させていただきました。秋田県鹿角市、山形県庄内町、宮城県岩沼市、七ヶ浜町、仙台市を回り、実際の建築を視たり設計者から話を聞いたりしました。それぞれ目的や傾向の異なる建築ですので自分に備わる評価軸での判断は難しいものもありましたが、大変よい経験になりました。このような貴重な機会ですので、自分の糧にいつも建築学会のお役に立てるよう、公正に評価させていただいたつもりです。これらの作品を視察した紹介などは、次回ニュースレターにてさせていただきます。最後までお読みいただきましてありがとうございます。それでは次回もどうぞ楽しみに。



学会審査作品の1つ、七ヶ浜町の遠山保育所。建物外部は全てステンレス張りになっており、周辺のあらゆるモノを歪ませて映し込む不思議な景観を創り出していました。